

令和2年度老健事業
「認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び
認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業」

認知症地域支援推進員活動 報告会

認知症地域支援推進員活動を、それぞれの地で、一步一步進めよう！
～本人の社会参加支援を焦点に～

2021年3月12日 13:30～16:00(zoom)

認知症介護研究・研修東京センター



日本全国、それぞれの自治体で

現在

近未来

認知症
地域支援推進員
活動

それぞれの地域を舞台に

すべての自治体が
認知症になっても
希望をもって
日常生活を過ごせる
地域共生社会に

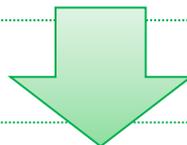
本日の報告内容

1. 研究概要および結果のダイジェスト

1) 目的と内容

2) 主な結果

- ① 推進員活動の質をめぐる実態と課題(全国調査より)
- ② 推進員活動の向上に向けた質の評価のあり方(提案)
- ③ 推進員活動の質向上の焦点となる認知症本人の
社会参加支援のあり方と今後の展開



2. 実践報告: 推進員による社会参加支援の実際と可能性

< 推進員それぞれの立場での社会参加支援 >

報告1: 行政の立場

報告2: 委託型地域包括支援センターの立場

報告3: 介護事業所の立場

★ 質問をお寄せ下さい。Q&Aをご利用下さい。

1. 研究概要および結果のダイジェスト

○研究事業名

令和2年度 厚生労働省老健事業

「認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び
認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業」

1)研究目的と内容

背景

- ①全市区町村が、推進員を配置
⇒「配置している」から
「質の確保・向上」へ

* 国の大綱
推進員の質の評価や向上の方策を検討

- ②認知症の人の社会参加支援（大綱）
⇒推進員が地域での推進役として

* 本人が支えられる側だけでなく、
支える側として役割と生きがいを

目的

- ①推進員の質の評価の基本的な考え方
・ありかたを検討し、自治体及び推進員に提案する。
⇒推進員活動の質を高めて
いくことを促進する。

- ②本人の社会参加活動を活発にして
いくための推進員活動の方策を
検討し、手引き等を作成する。
⇒地域の実情に応じて、多様な社会
参加の支援を促進する。

2021年度以降、各自治体が推進員活動の質の向上を進めていくために

- 研究内容：①検討委員会、作業ワーキングチームを設置し、実情を踏まえて検討
②推進員の活動事例の収集・検討
③全国調査（都道府県、市区町村、推進員）

2) 主な結果: ①推進員活動の質をめぐる実態と課題(全国調査より)

(1) 調査対象と回答者数

①都道府県認知症施策担当者	47 (100.0 %)
②市区町村認知症施策担当者	1143 (65.6 %)
③認知症地域支援推進員	3402 (44.7 %)

★調査へのご協力、本当にありがとうございました。

(2) 調査内容

三者共通の構成・内容で調査

都道府県	市区町村	推進員
基本情報		
I. 推進員活動の環境整備・体制		
II. 推進員活動の実際 (プロセス)		
III. 推進員活動による変化/成果		
IV. 取組んでみての思い・体験		
V. 課題・要望		

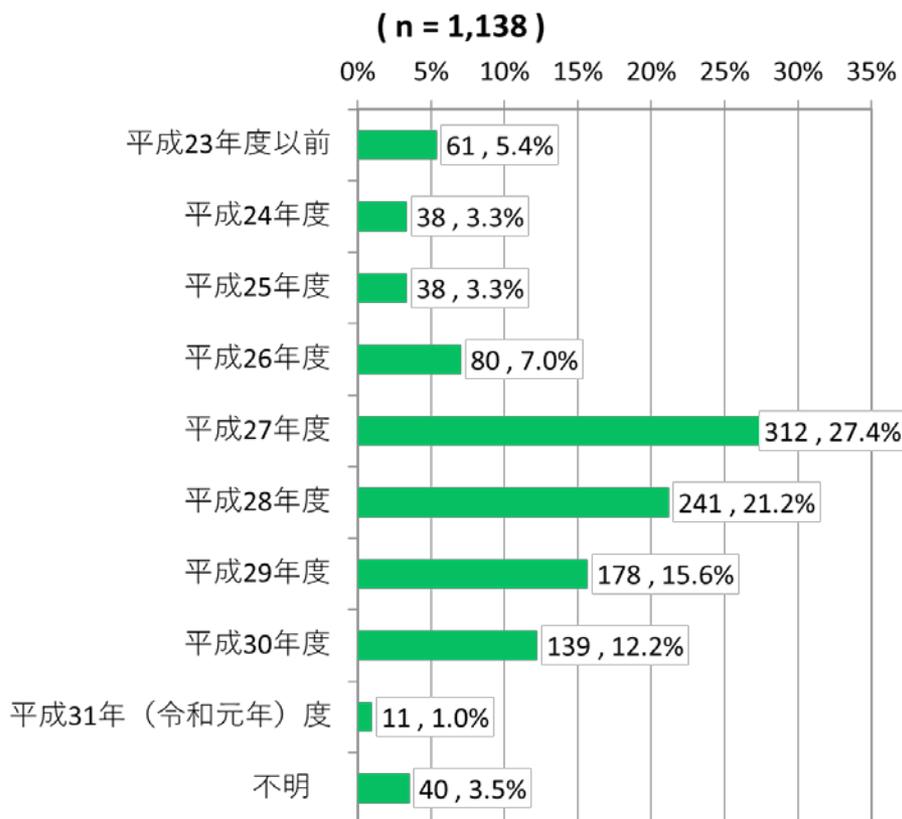
質の評価の
三領域

*本日は、調査の一部を抜粋して報告

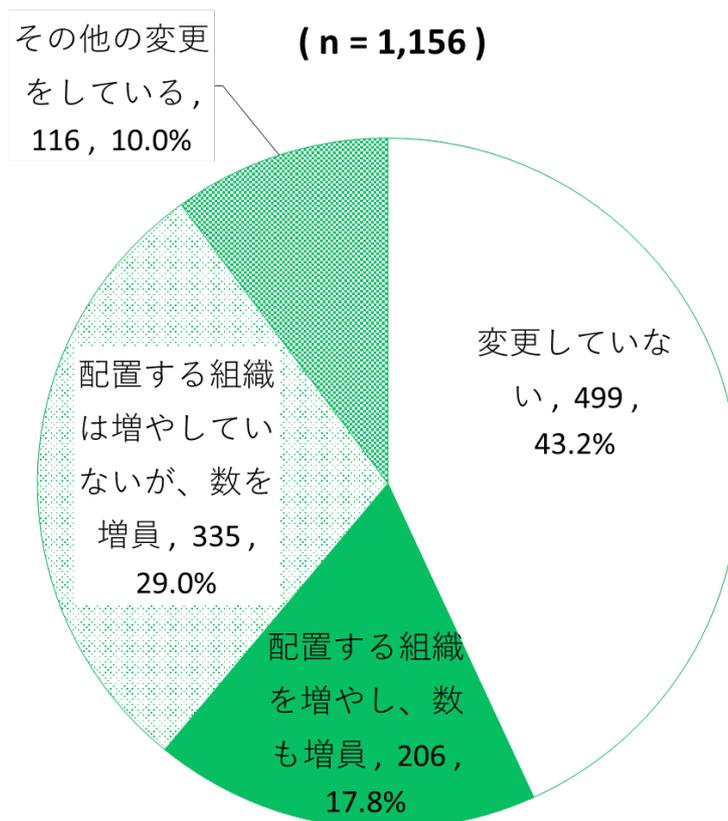
認知症地域支援推進員の配置状況① (市区町村調査)

回答総数1,143中、未記入を除く

【推進員を最初に配置した年度】



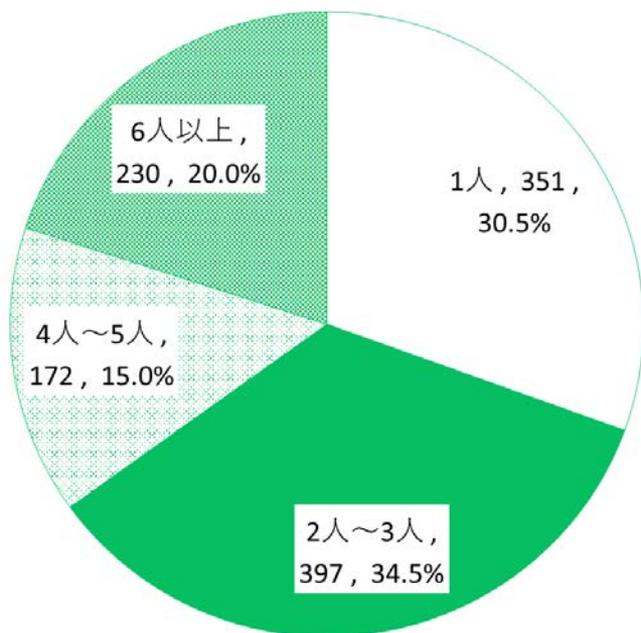
【最初に配置してからの配置数等の変更】



認知症地域支援推進員の配置状況②（市区町村調査）

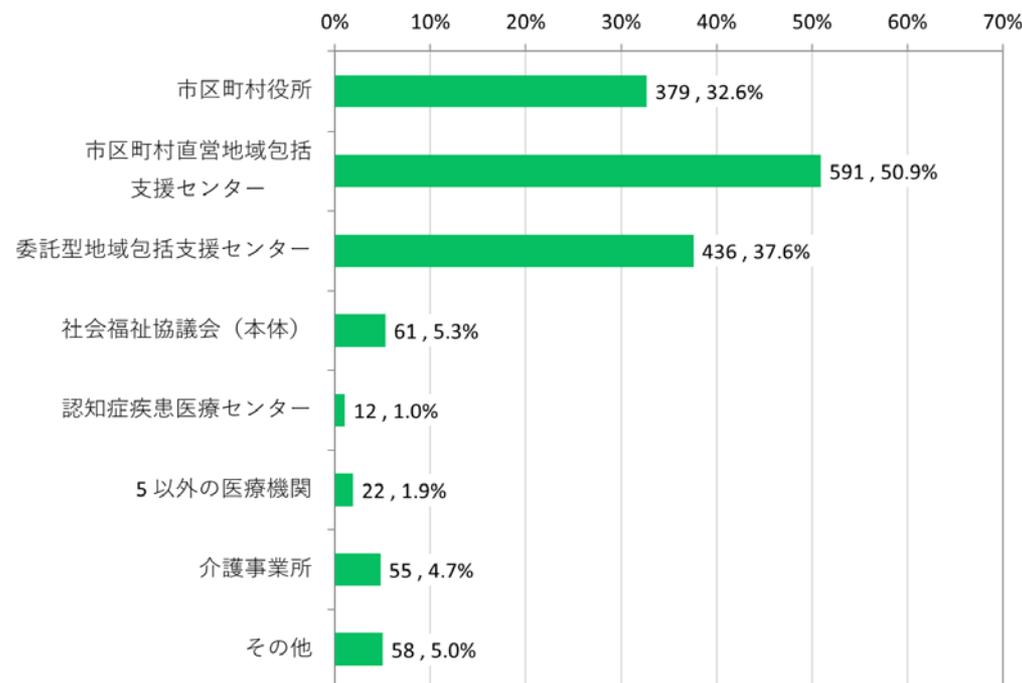
【現在の推進員の配置総数】

(n = 1,150)



【現在、配置している組織】

(n = 1,161)

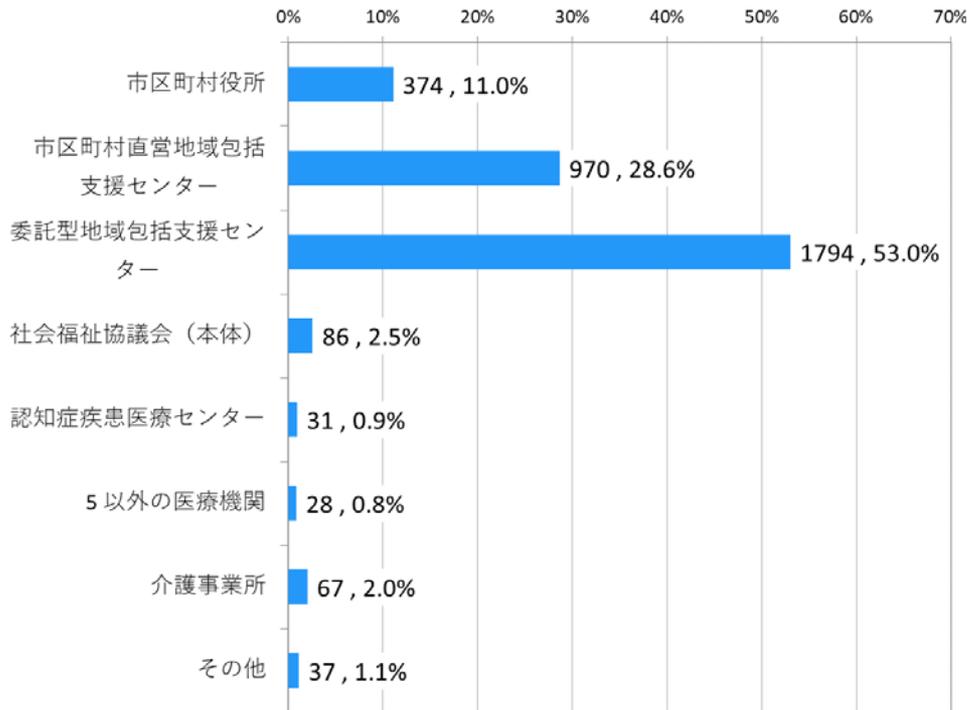


認知症地域支援推進員の概況①（推進員調査）

回答総数3,402中、未記入を除く

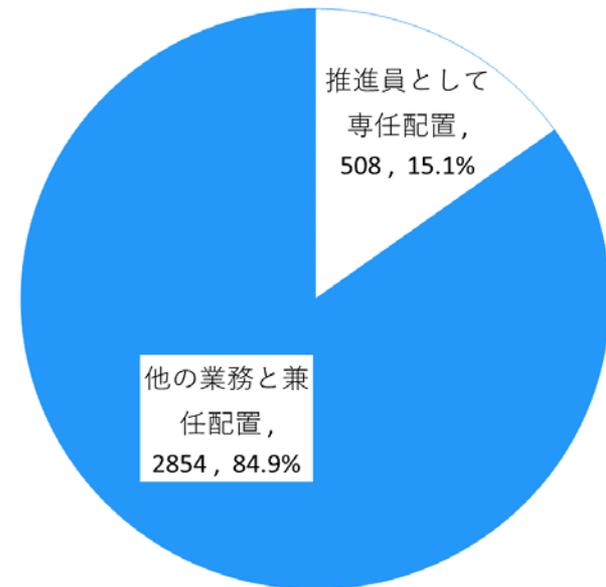
【配置されている組織】

(n = 3,387)



【配置形態】

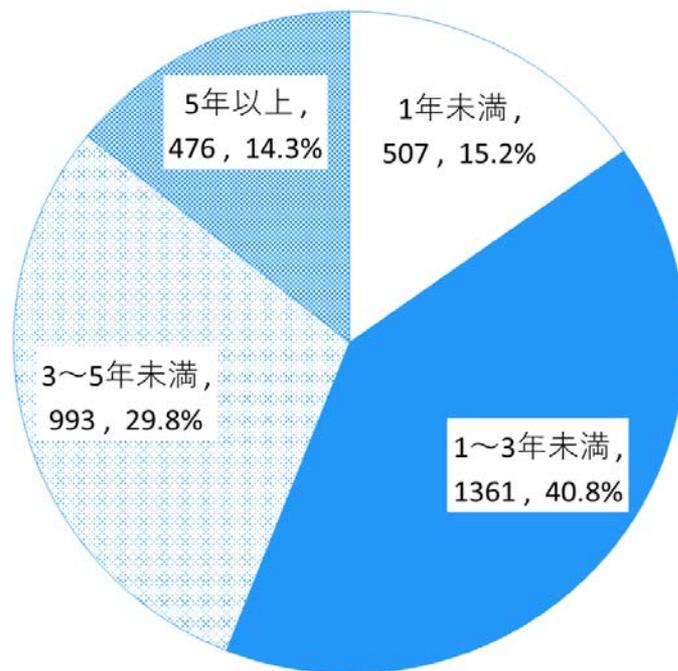
(n = 3,362)



認知症地域支援推進員の概況②（推進員調査）

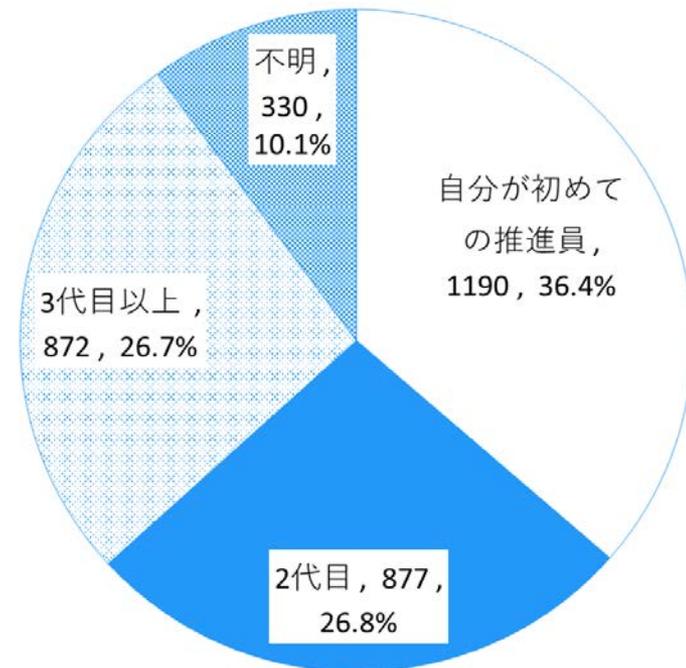
【配置されてからの年数】

(n = 3,337)



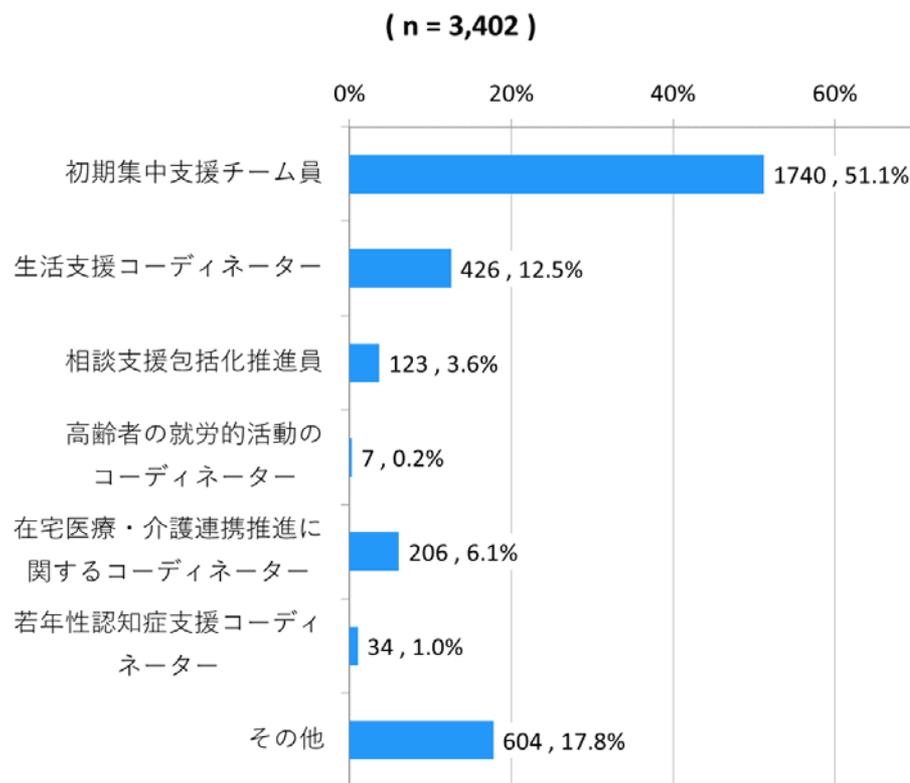
【組織の中で何代目か】

(n = 3,269)

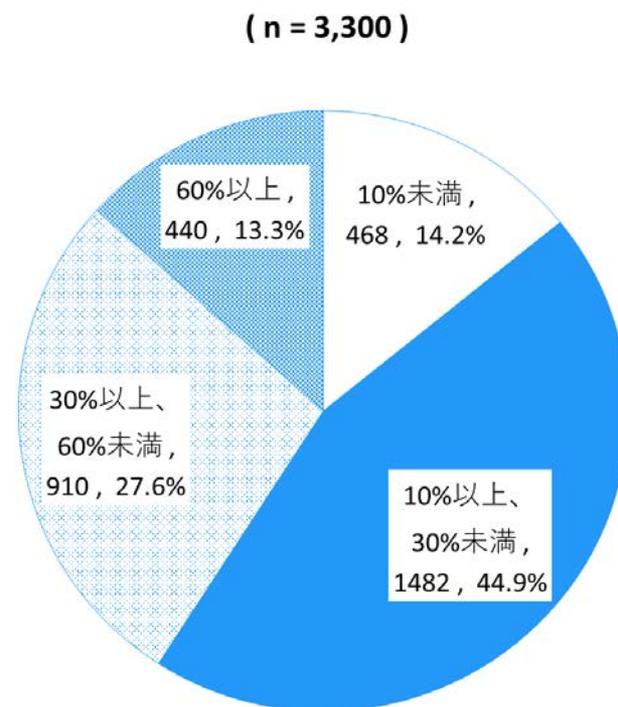


認知症地域支援推進員の概況③（推進員調査）

【推進員以外の連携担当の役割】

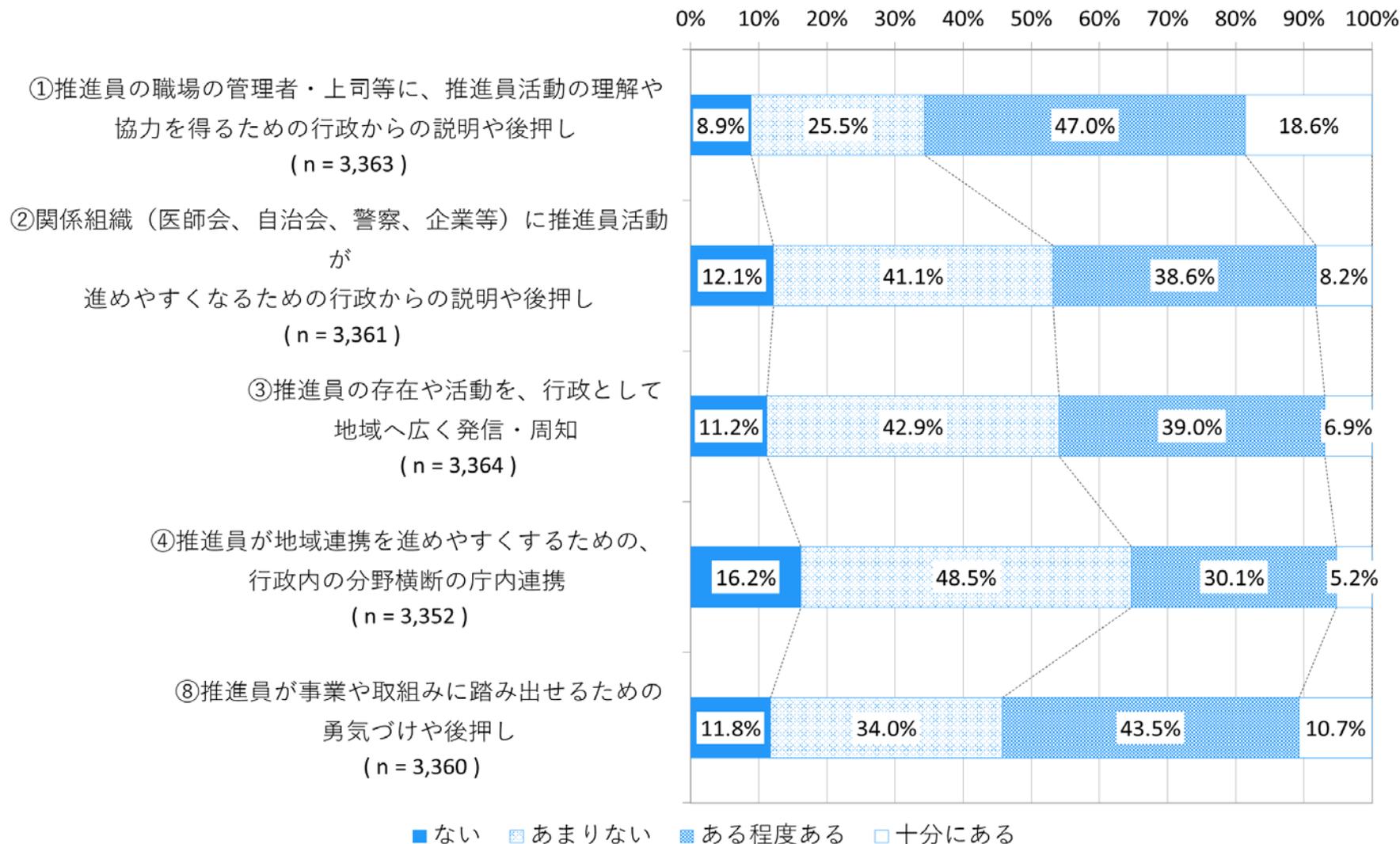


【全仕事の中で推進員業務の割合】 (兼任者)



I . 推進員活動の環境整備・体制①（推進員調査）

I—6 「推進員の活動のしやすさ」への市区町村としての配慮や取組み

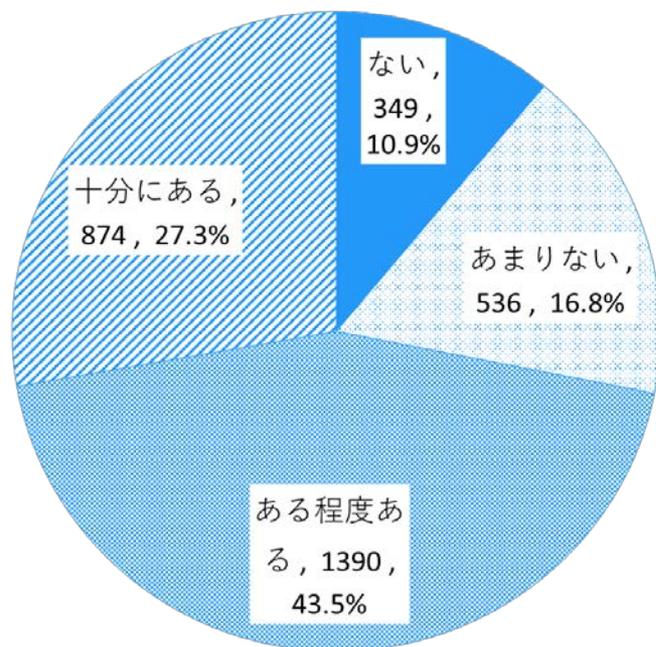


I . 推進員活動の環境整備・体制② (推進員調査)

I-7 「推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会等」

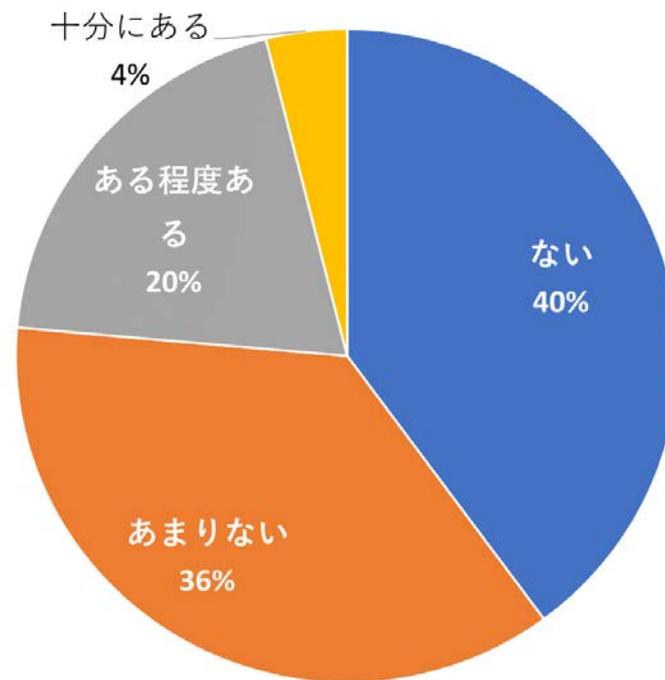
同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある(複数配置の場合)

(n = 3,159)



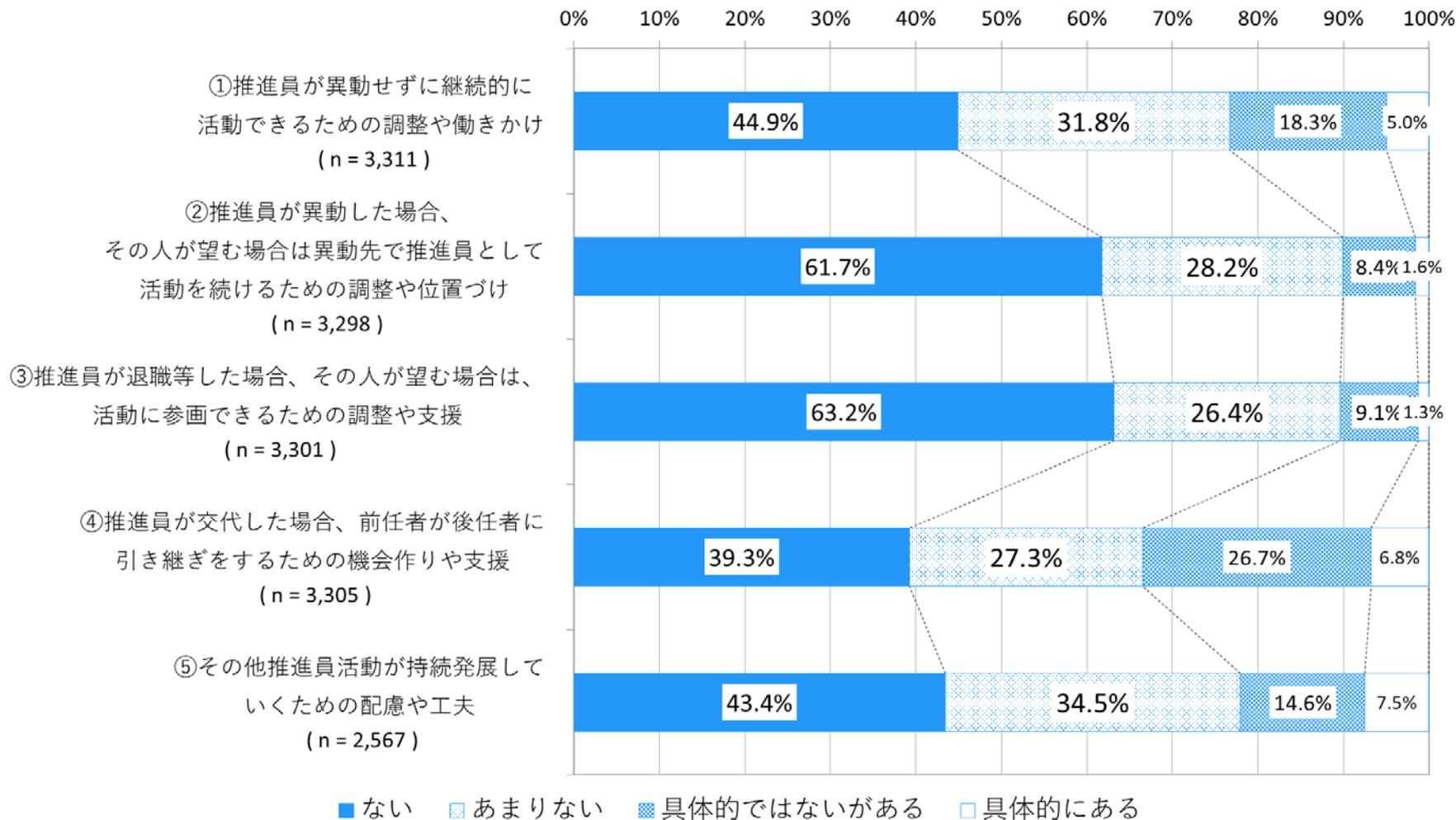
近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会がある(推進員全体)

(n=3367)



I . 推進員活動の環境整備・体制③ (推進員調査)

I—9 「推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫等



I. 推進員活動の環境整備・体制④（推進員調査）

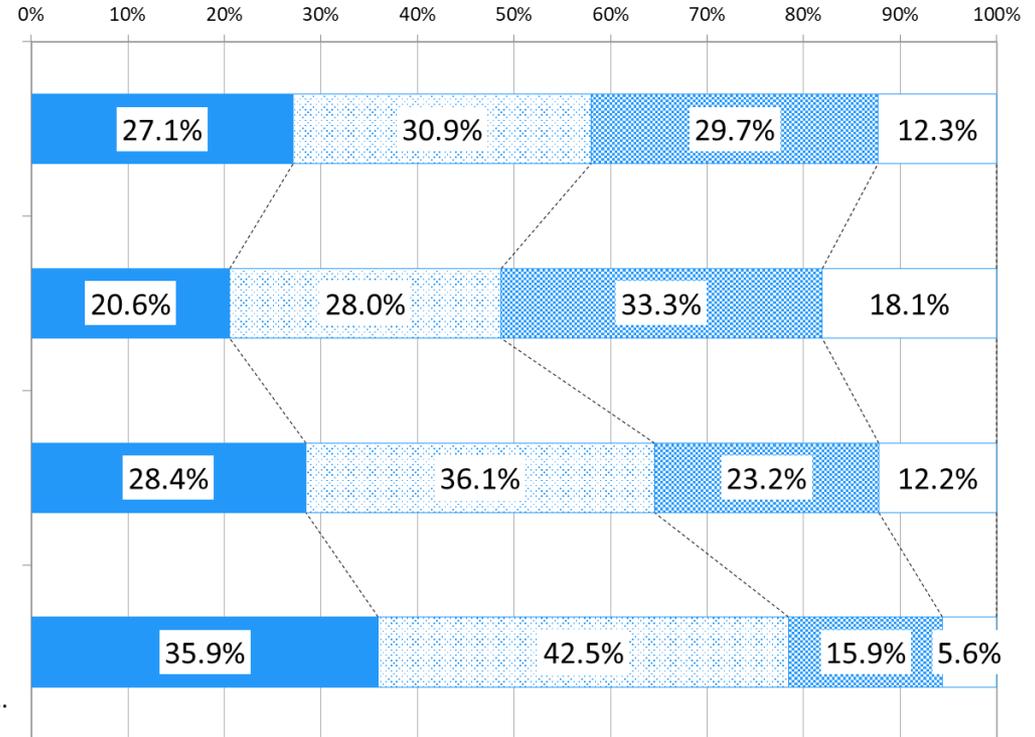
I—10 認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と配慮・工夫等

①市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるように
関係機関等との調整や働きかけをしている
(n = 3,306)

②市区町村が、適切な推進員数を検討し、
その数の確保のための調整や働きかけをしている
(n = 3,304)

③市区町村が、効果的な「推進員の配置先」を
検討し、配置先の工夫や調整をしている
(n = 3,293)

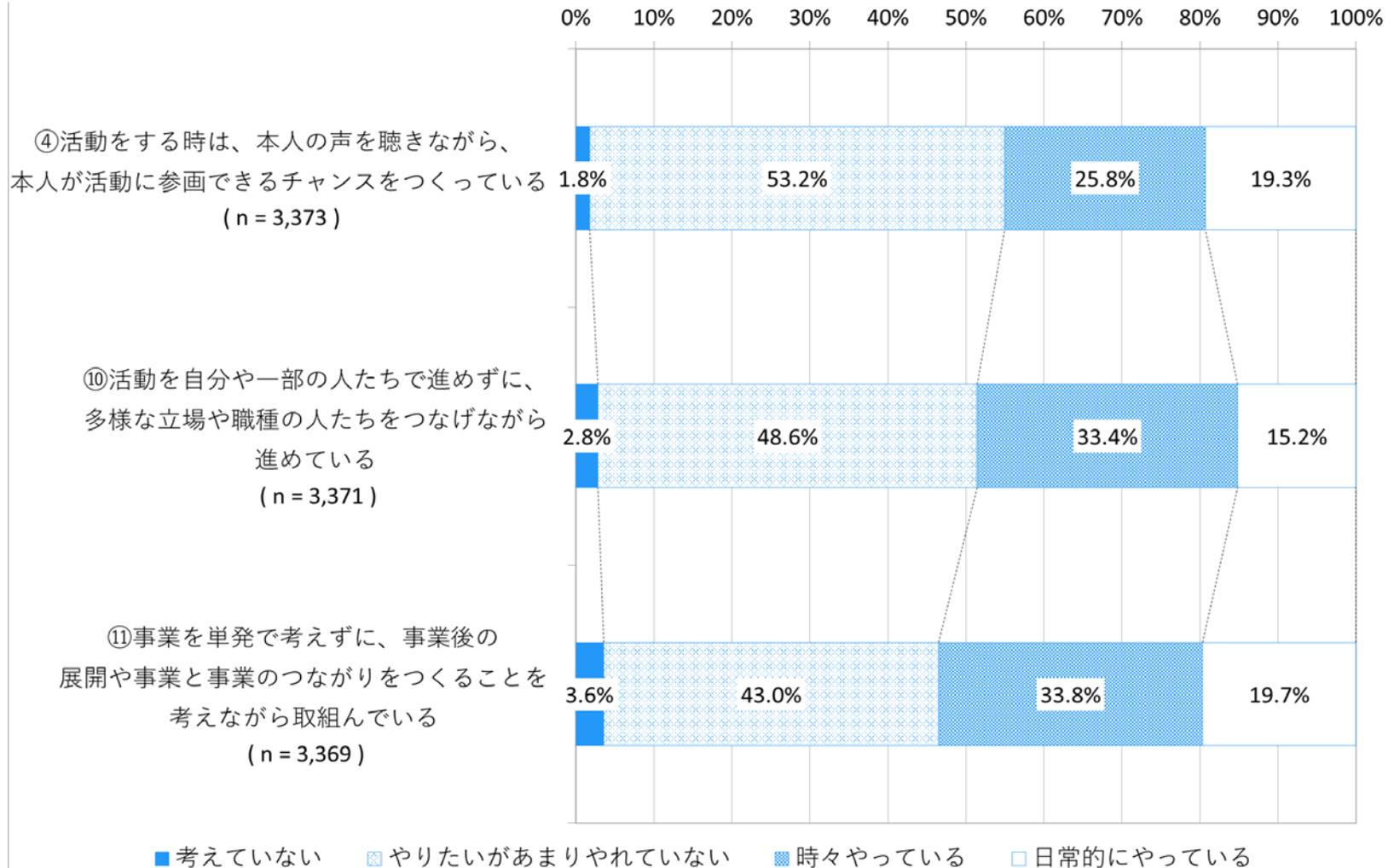
④市区町村が、配置している推進員の機能を
活かしていくために、推進員とともに活動する人材の
配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている...



■ していない ■ あまりしていない ■ 具体的ではないがしている □ 具体的にしている

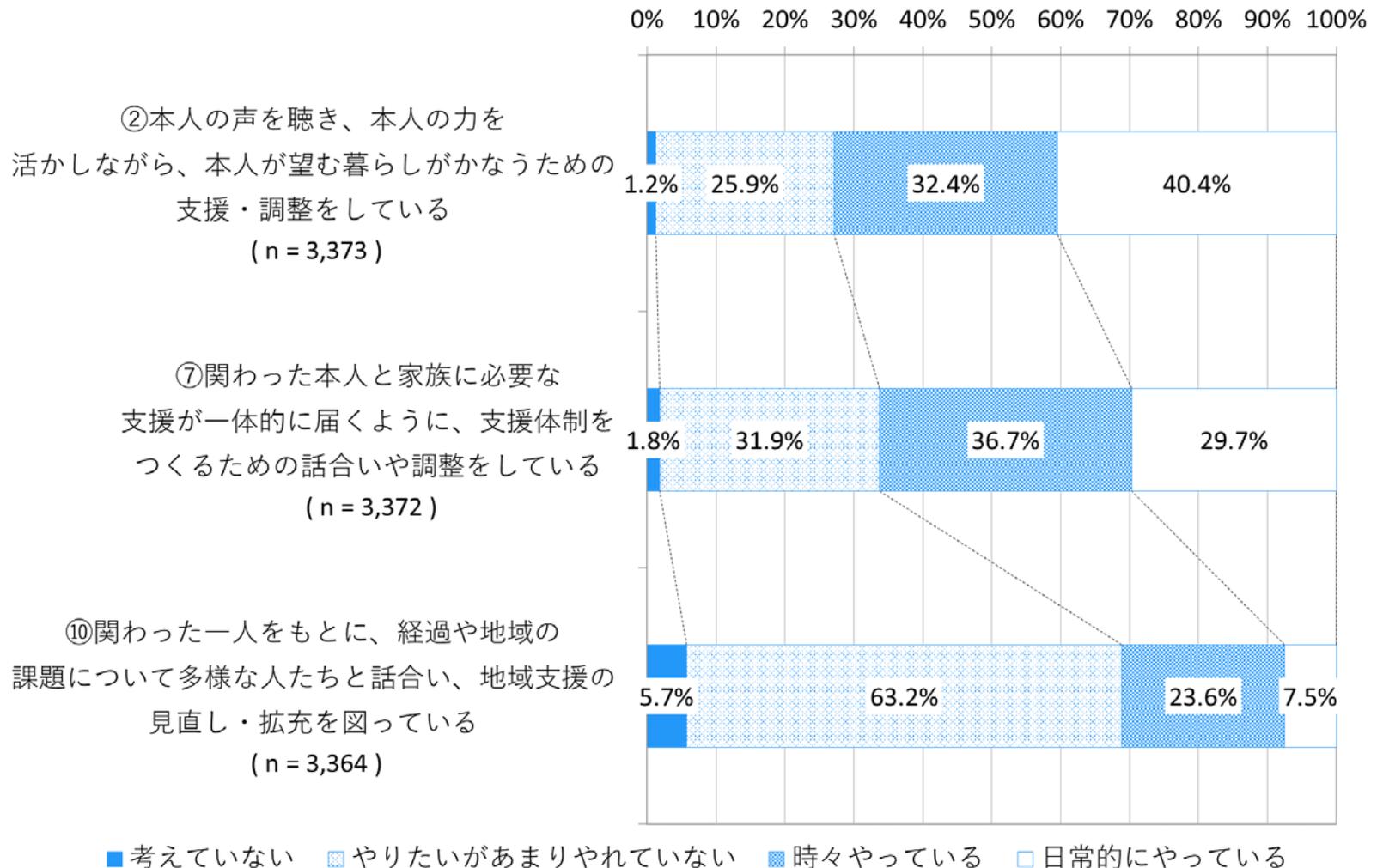
Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）①（推進員調査）

Ⅱ-1 推進員の活動のしかた(スタンス)について



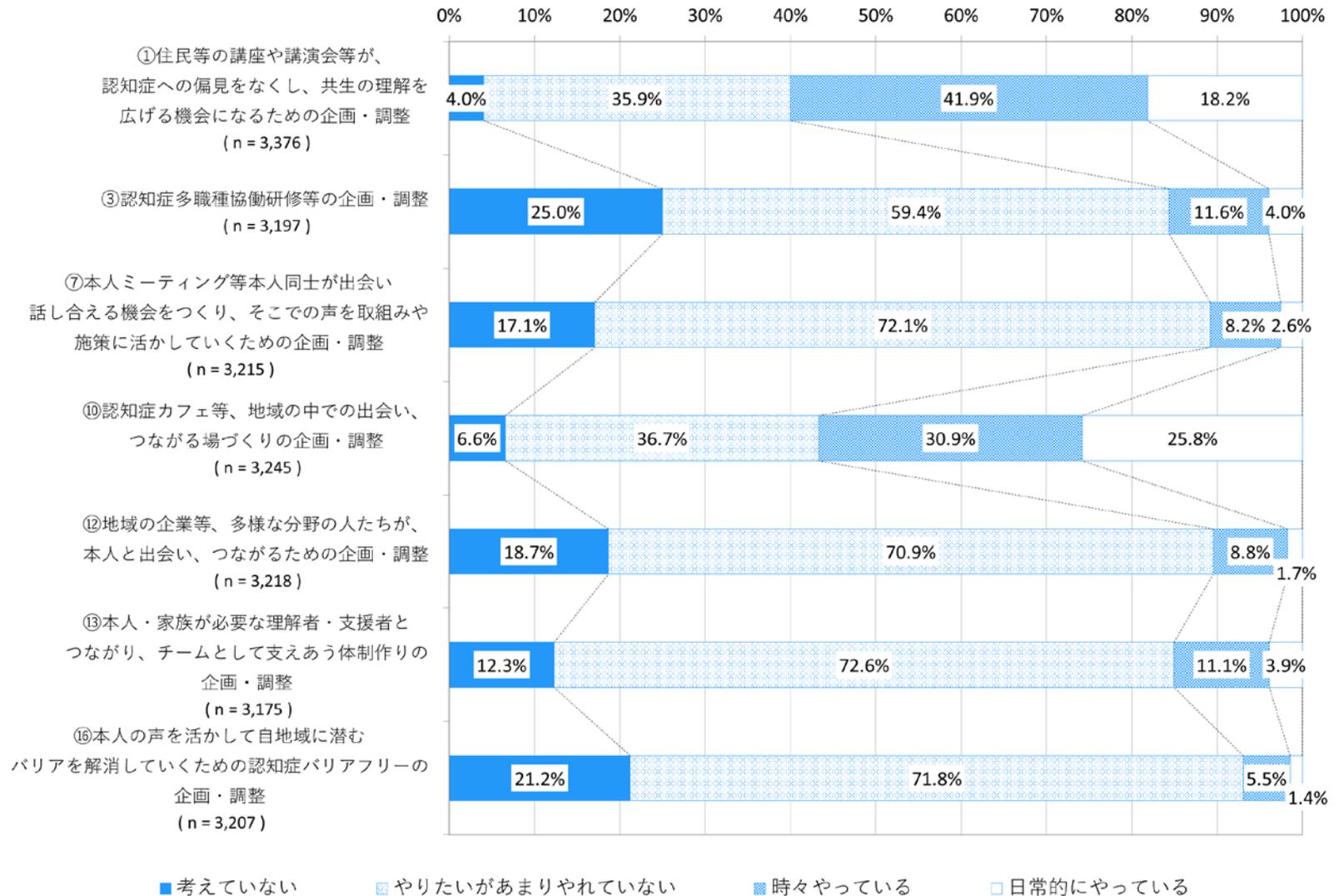
Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）②（推進員調査）

Ⅱ-2 個別の相談・支援体制づくり



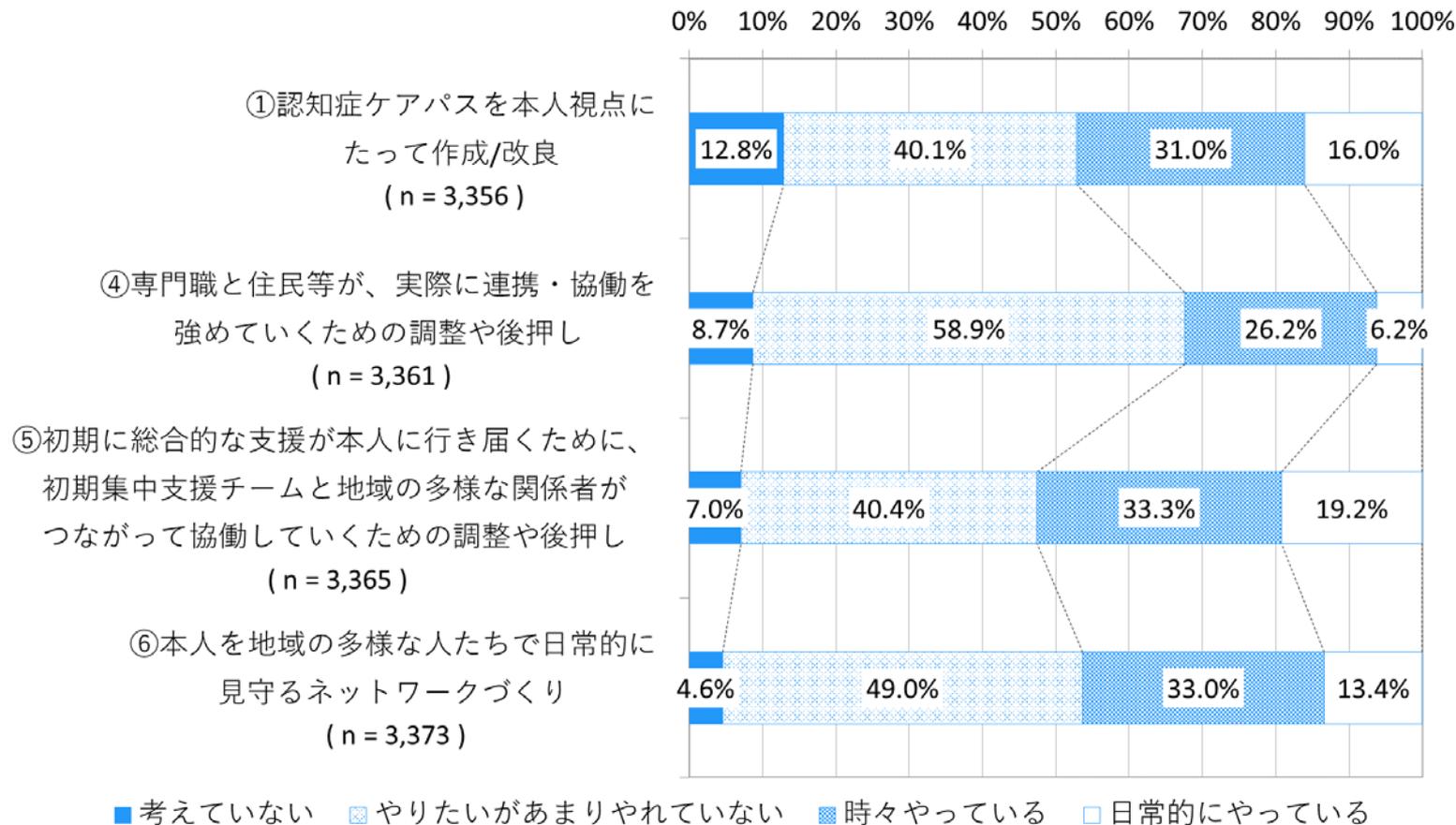
Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）③（推進員調査）

Ⅱ-3 関係機関と連携した事業の企画・調整



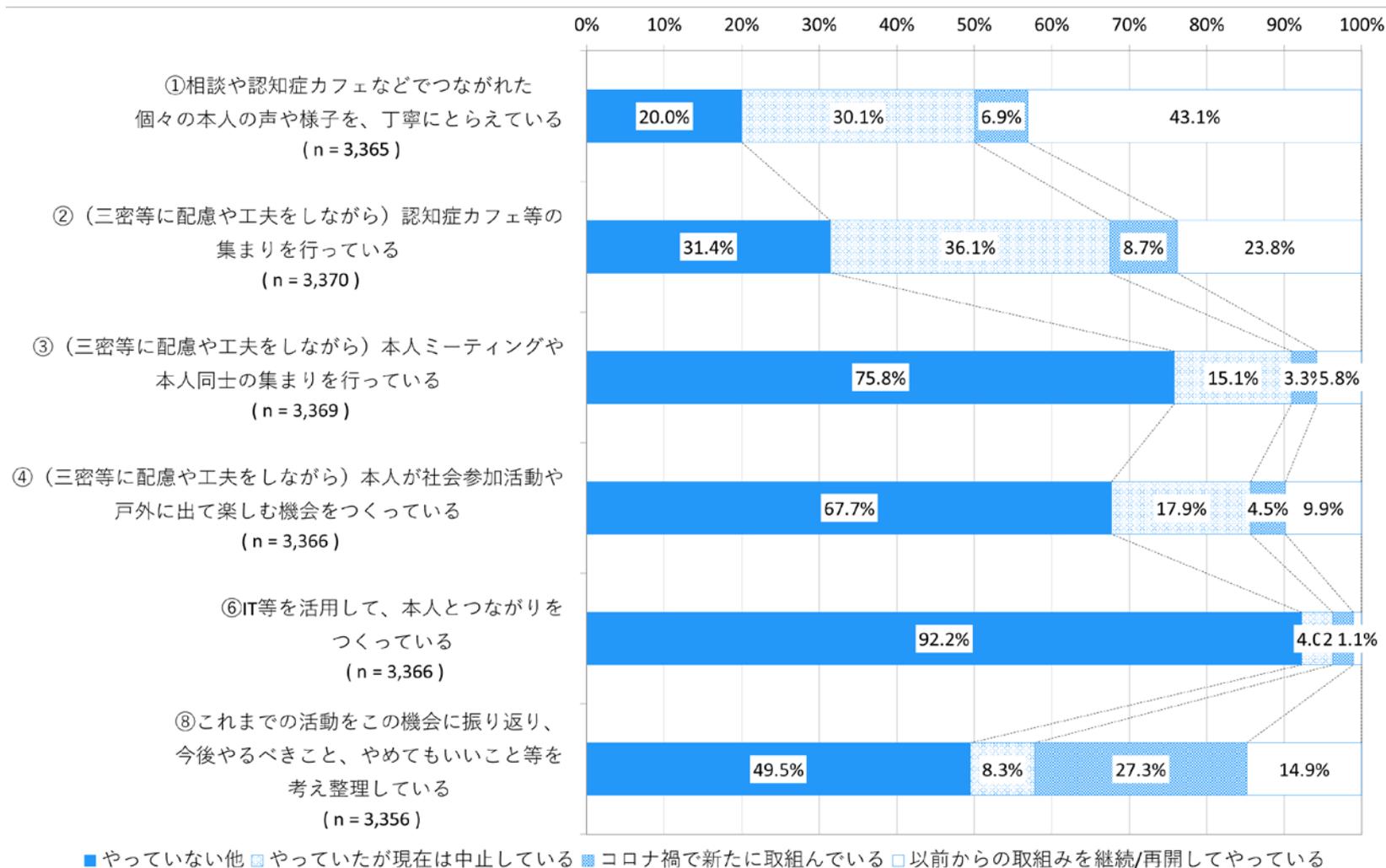
Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）④（推進員調査）

Ⅱ-4 医療・介護等の支援ネットワークの構築



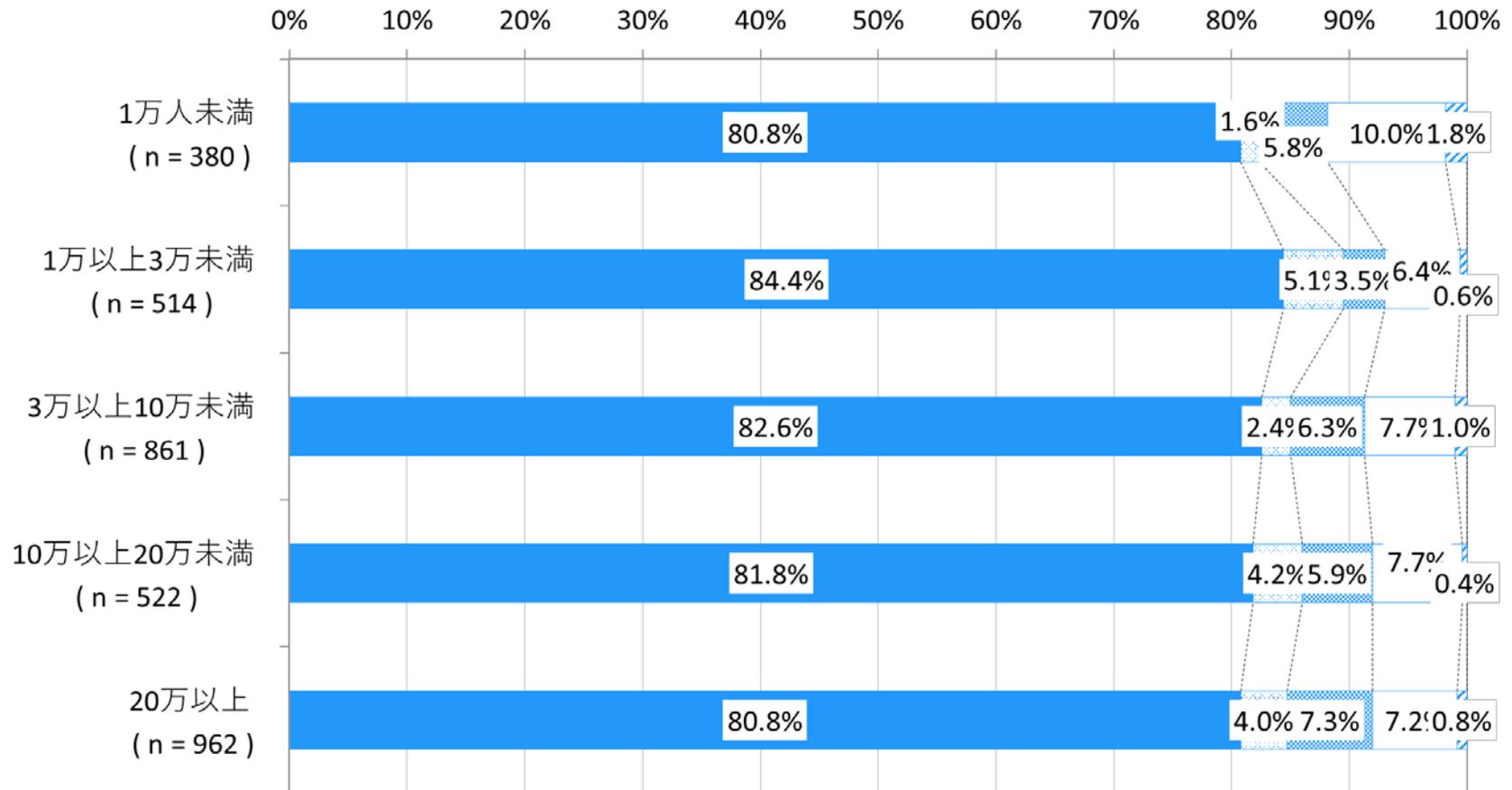
Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)⑤ (推進員調査)

Ⅱ-5 コロナ禍の中での推進員活動



Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果②（推進員調査）

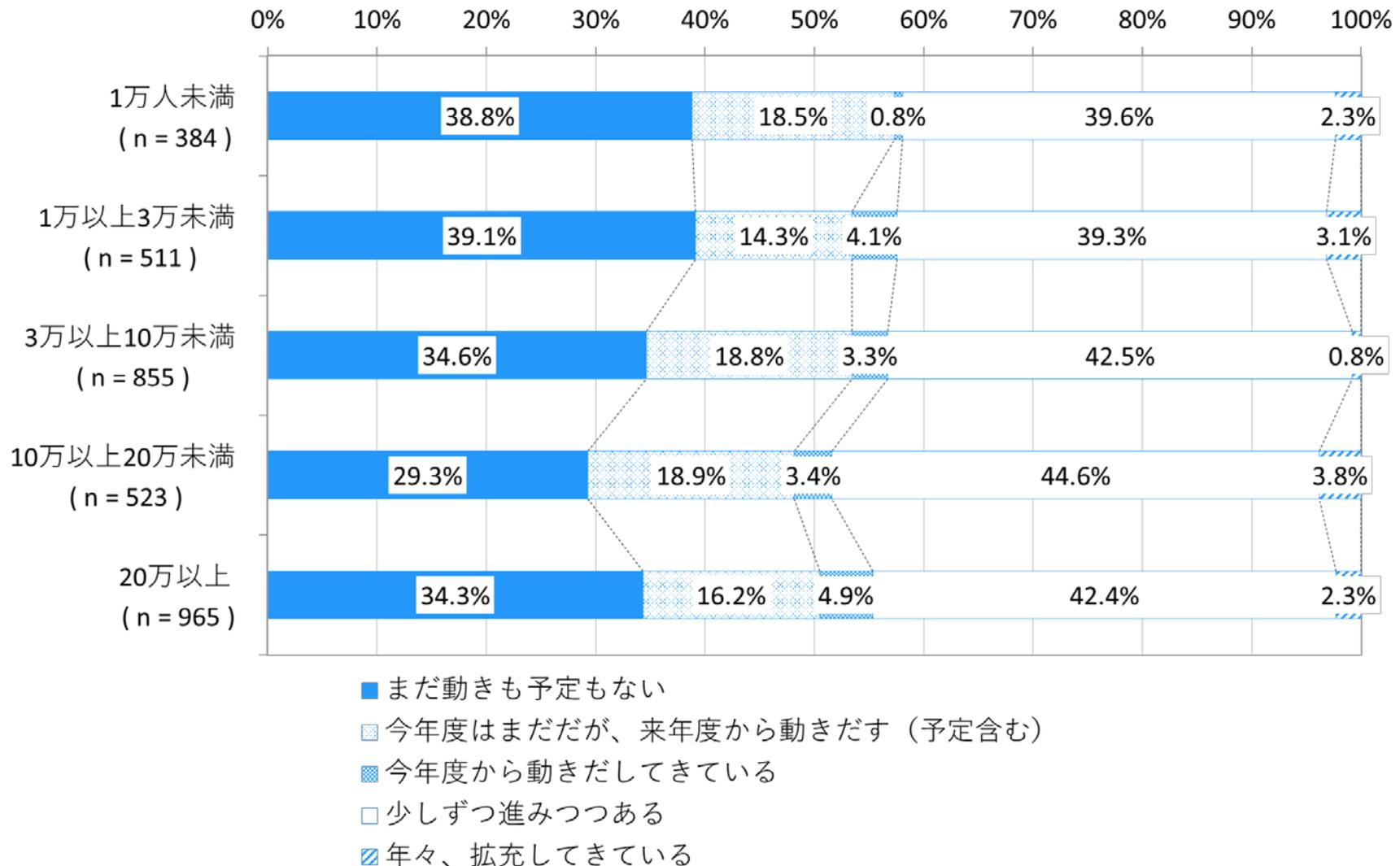
本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった
 （自治体の人口規模別）



- まだない
- 今年度からみられるようになった
- 数は増えたが、中身はあまり変わっていない
- 増えてはいないが、中身が充実してきている
- 昨年度より中身が充実し、数も増えてきている

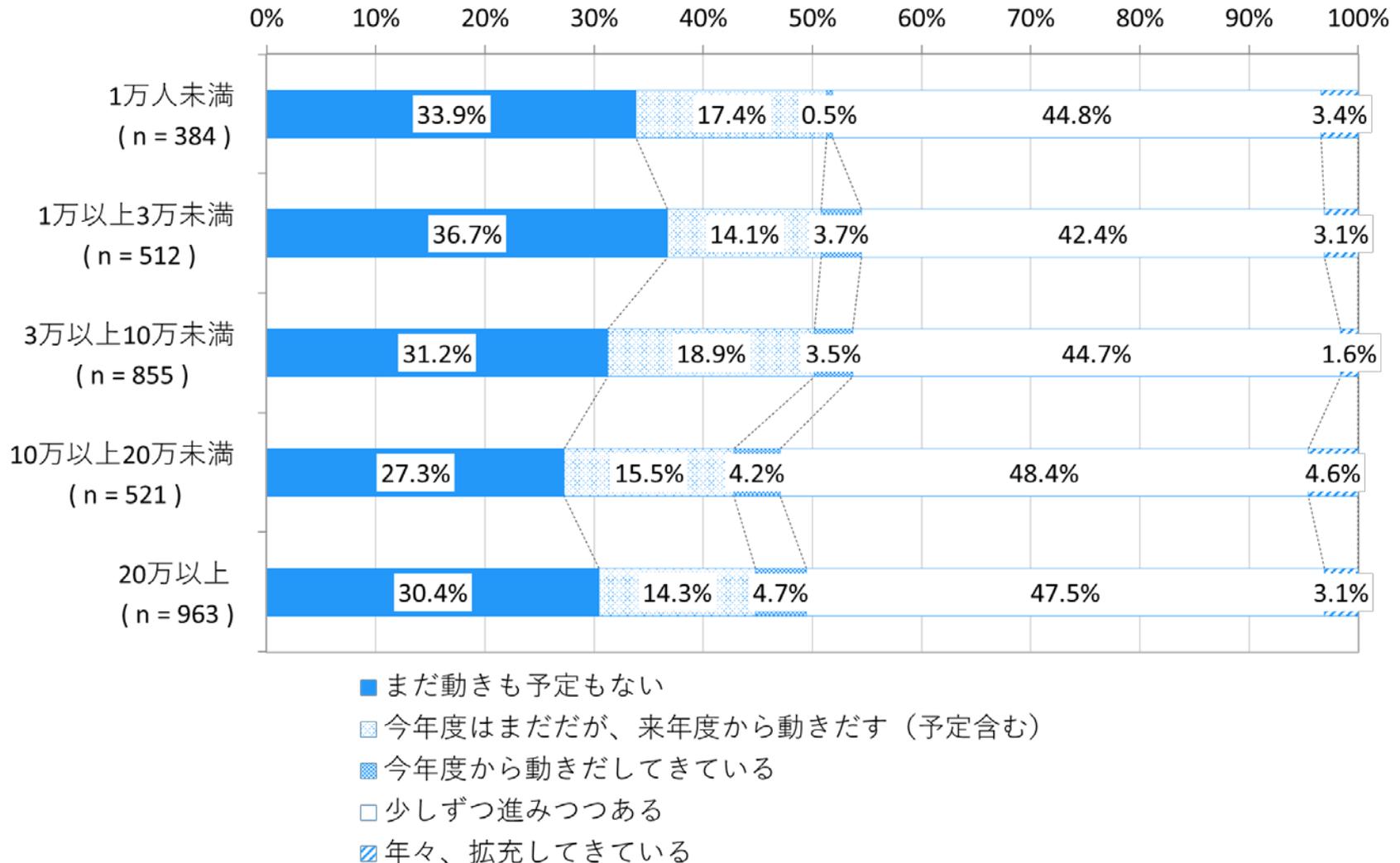
Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果③（推進員調査）

地域の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつづけるようになってきている
 （自治体の人口規模別）



Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果④（推進員調査）

認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている
 （自治体の人口規模別）



I—8 推進員活動のPDCAや質の評価等（市区町村調査）

①推進員活動の「PDCA（計画・実践・見直し・改善）」
に取組んでいる
(n = 1,154)

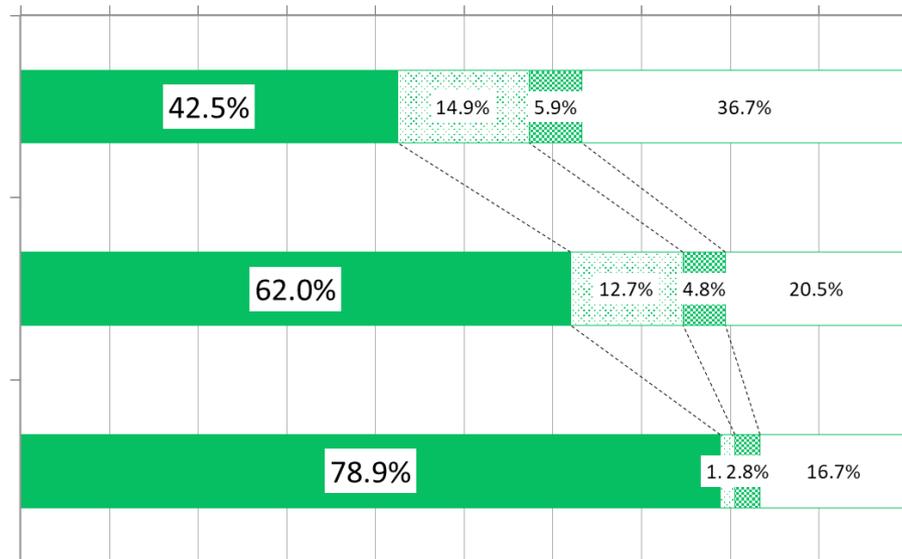
②推進員活動の「質の評価」に取組んでいる
(n = 1,154)

⑥推進員活動の報告会を開き、活動の向上に
関する話し合いを行っている
(n = 1,151)

■ 特に行っていない

■ 推進員同士が自主的に取組んでいる

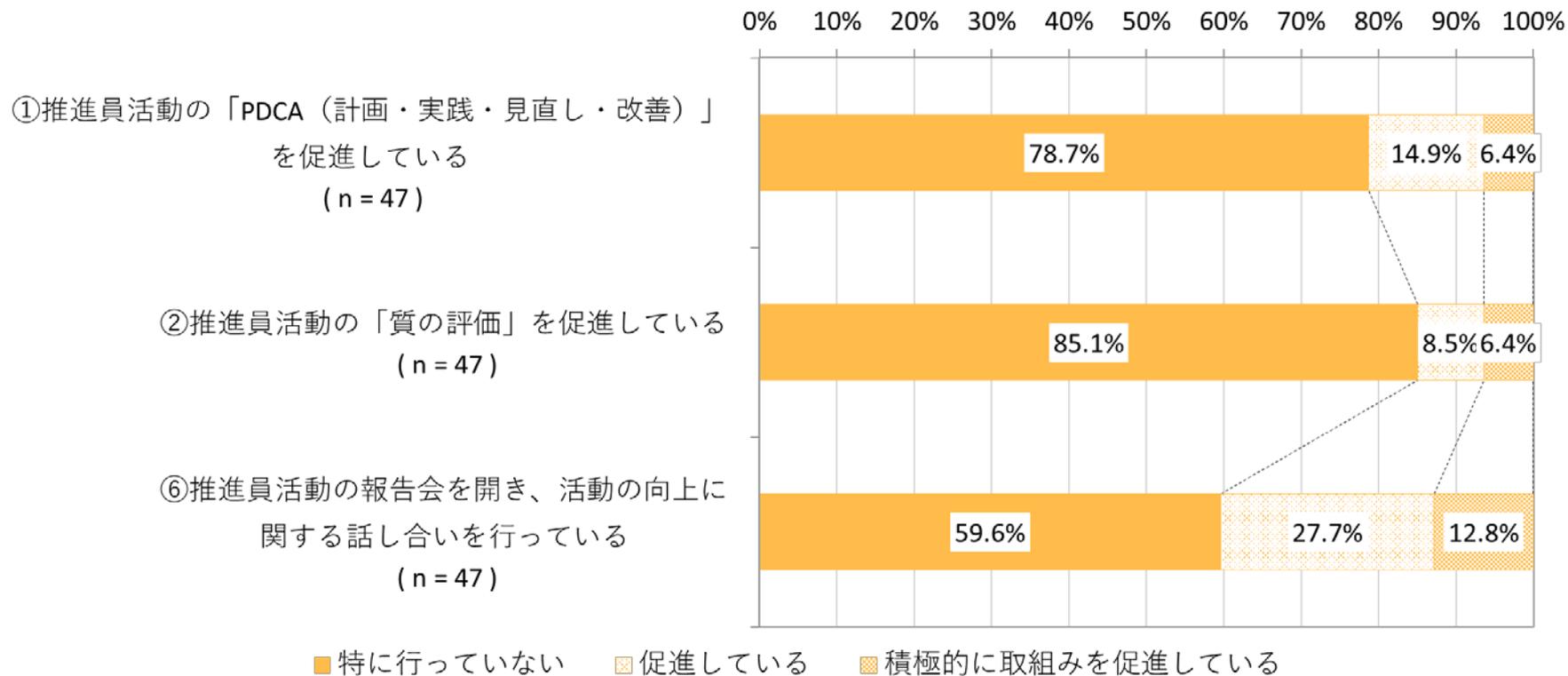
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 推進員が個人で取組んでいる

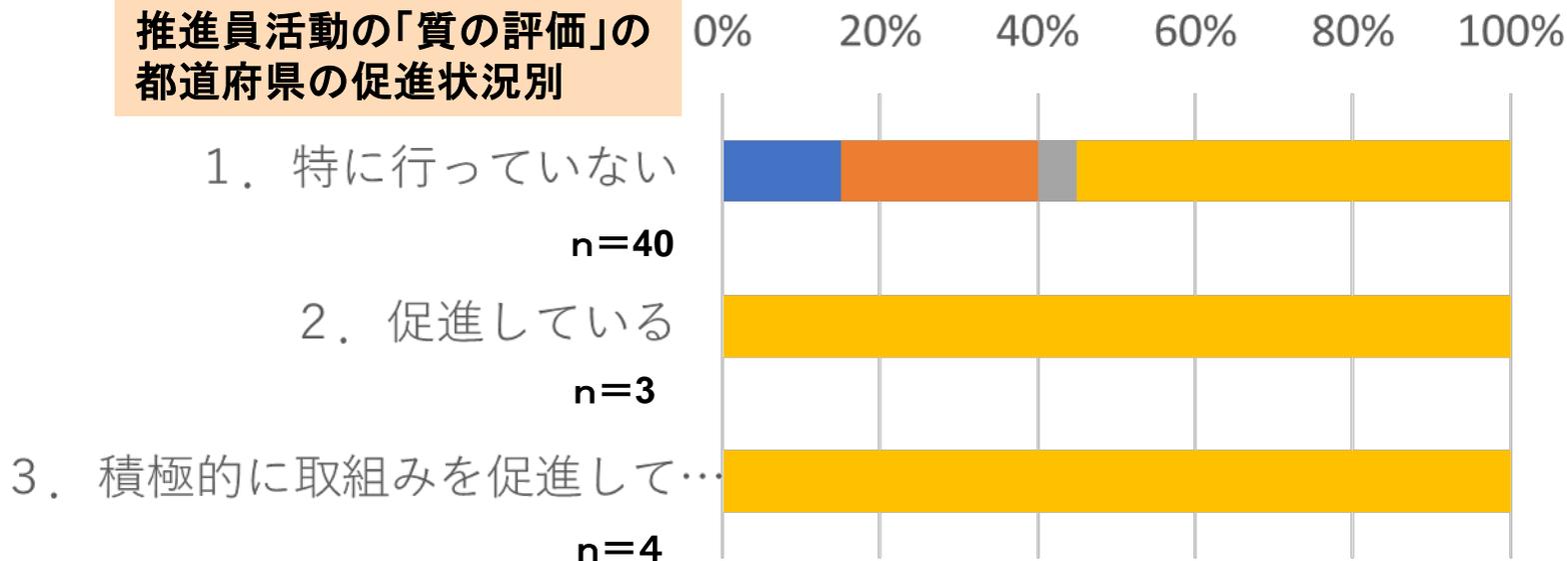
■ 認知症施策担当者と推進員が一緒に取組んでいる

I—8 推進員活動のPDCAや質の評価等（都道府県調査）



都道府県内の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつつけるようになってきているか

推進員活動の「質の評価」の都道府県の促進状況別



- 1. まだ動きも予定もない
- 2. 今年度はまだだが、来年度から動きだす (予定含む)
- 3. 今年度から動きだしてきている
- 4. 少しずつ進みつつある
- 5. 年々、拡充してきている

2) 主な結果: ②推進員活動の向上にむけた質の評価のあり方(提案)

【①推進員活動の質の評価の目的】

各市町村に配置された推進員が、地域共生社会の実現に向けて推進員活動をより効果的・円滑に展開していくことを促進するために必要な補強点・改善点等を明らし、推進員活動の向上を図っていくことを目的に実施する。

【②基本方針】

- * ①推進員個人ではなく、「推進員活動」を評価する。
- * ②推進員活動に関して、行政と推進員等が協働で評価する。
　　<本人の声を聞き、反映しながら>
- ③形式的な評価や推進員を脅かしたり活動を狭める評価ではなく、推進員が視野やつながりを広げ、前向きに楽しく活動していくきっかけとする。
- * ④評価の企画や実施、評価結果の活かし方について行政と推進員が話し合い、その後の推進員活動の向上に役立てていくプロセスを大切にする。
- ⑤推進員活動の補強点・改善点と同時に、ふだんの中では見えづらい推進員活動を通じて生み出されつつある変化や成果、工夫等も明らかにする。
- ⑥評価に関して、推進員と行政関係者内の閉ざされた評価にせず、評価のプロセスや結果を関係者や地域と最大限共有を図り、その後の推進員活動や認知症施策の推進等に活かしていく。
　　* 行政(事業) 評価にも反映させていく。

推進員活動の質の評価の方法

【①評価の実施主体】

○各市町村

○各市町村が実施しない場合

推進員が個々に、あるいは同一市町村や周辺地域の推進員が複数で自主的に主体となって実施することも可能。

* 都道府県は、管内市町村の取組みを促進・後押しする。

【②誰が評価するか】

<基本>

○行政担当者

○推進員（複数配置の場合は、各推進員）

<展開>

○市町村内の認知症の本人、家族、関係者、地域の人とともに評価

○市町村外の人（他地域の推進員、関係者、本人等）

【③評価の時期】

<基本:年次評価>

○最低年に1回

* 質向上のために各市町村で適切な時期を検討し決める。

* 都道府県が、管内で統一的な実施を促進する場合、管内市町村や推進員と協議しながら決める。

<展開>

○各市町村で必要な時期に実施

推進員研修の実施前、市町村として重要な年間事業の実施後等

* 評価実施を通じて、行政担当者、推進員が日常的に推進員活動の質を意識して取り組むこと契機とする＝日常的な評価を積み上げて、年次評価を行う。

(2) 推進員活動の質の評価の方法（つづき）

【④評価の流れ】

ステップ1 評価実施の企画

- ・ 評価の目的、基本方針の確認・共有
- ・ 基本をベースに、自地域にあった評価方法の検討・企画



ステップ2 評価の実施

- ①行政担当者、推進員が各自で評価 * 本人の声・視点を踏まえ
- ②①をもとに話し合い
- ③協働で評価結果をまとめる
- ④推進員活動向上のための補強点、改善点等を明確にする。



ステップ3 結果の公表・共有・話し合い

- * 公表・共有の範囲や方法は行政と推進員が協議して決める



ステップ4 推進員活動の質向上を図る

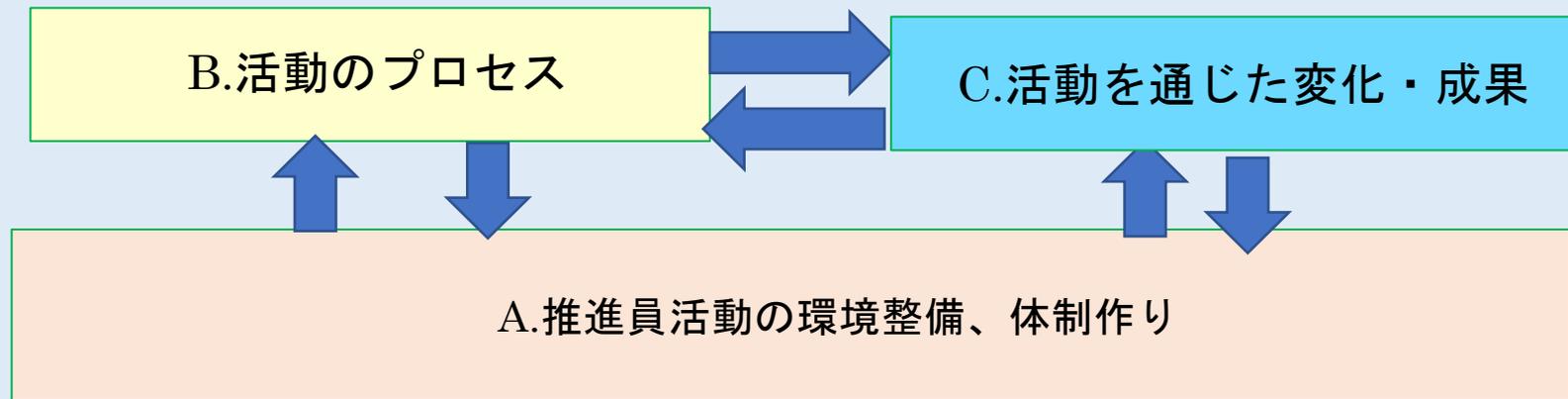
- * 評価結果及び話し合い等の内容を活かして、即、補強・改善を図る。
- * 行政、推進員が各自及び協働で。
- * 推進員の活動計画にも反映して、計画的に向上を図る。



(3) 推進員活動の向上のために、何を評価するか

【評価内容(項目)の観点】

- ①評価しながら、推進員活動がめざしていること・注力すべことに気づける(再確認できる)内容(項目)
- ②新任者も評価項目をみることで、推進員としての重点・動き方を知ることができる内容(項目)
- ③何を何回やった等の現行の事業評価ではなく、行政と推進員がめざしていることの実現に近づくためのプロセスとその後の変化/成果を確認する内容(項目)に：評価しながら流れ・展開について確認
※いきなり成果ではなく、見えにくいが大切な活動のプロセス、推進員の細かな努力：課題も浮き彫りに
- ⑤活動自体だけではなく推進員活動のしやすさや成長の背景にある環境/体制も確認できる構成・内容に
- ⑥評価しながら、これなら自分にもできることがある、やりたい、とモチベーションがあがるような項目を



「推進員活動の質の3領域」

推進員の配置・存在を大切に、質の向上を一緒に

* 市区町村の担当者と推進員が

活動を振り返り、補強点・改善点を具体的に見つけ、一緒に活動を改善していこう

* 都道府県は

・市区町村担当者が、推進員とともに話し合いながら「質の評価」に取り組む促進を。

・都道府県管内で、動き・到達状況に大きな違いがみられている

★管内の好事例情報を集約して、横展開を図ろう：他の市区町村が動きだす後押しを

- ・活動の環境整備の工夫
- ・活動のプロセスの工夫
- ・変化/成果の具体

一連の流れとして

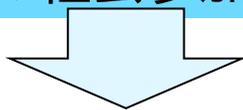
・都道府県間で、推進員活動の促進状況に大きな違いがみられている

★他都道府県の推進員活動の促進を参考に、今後、自地域にあった促進を。

今年度の全国調査の全国集約及び都道府県別の集計結果を、都道府県にフィードバックします。ぜひ、各市区町村、各都道府県で、「推進員」が力を発揮できるように検討・話し合いを！

3) 主な結果: ③ 推進員活動の質向上の焦点となる認知症本人の社会参加支援のあり方と今後の展開に向けて

全国調査・事例収集を通じて見えてきた
推進員による本人の社会参加支援の可能性: その1



「新たな特別の業務」ではなく、ふだんの活動の中で
本人の社会参加支援を始めていける!

相談

認知症
カフェ

本人ミー
ティング

初期集
中支援

地域ケア会議
/ 連携会議
/ 多職種会議

啓発・
講座
イベント

健診
健康
作り

見守り・
SOS
体制作り

認知症
ケアパス
の改良

その他

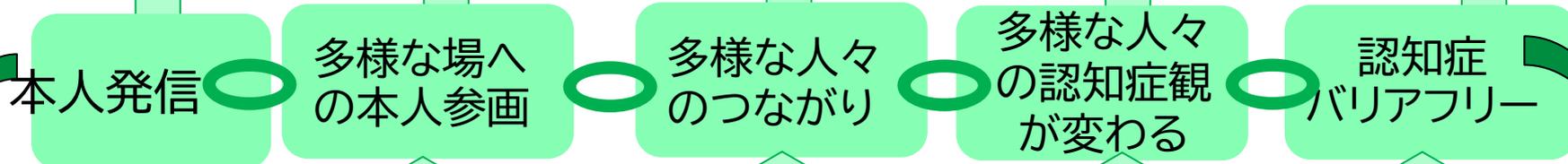
★ 主なポイント

- * ふだん接する「その一人」の社会参加を大切に: 必ず社会参加していた、したい!
- * 「本人が望む社会参加」を: **カタチをつくろう、カタチにはめようと焦らない**
- * 本人の声と力をフルにいかし、一緒に進める
- * 「本人がやりたいこと」を、周囲・地域に伝え、支援者仲間を増やす

全国調査・事例収集を通じて見えてきた
推進員による本人の社会参加支援の可能性:その2

推進員が社会参加支援に取り組んでいくと、
認知症施策全体が促進、加速、向上していく

認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる
わが町ならではの地域共生



本人の社会参加支援

相談

認知症
カフェ

本人ミー
ティング

初期集
中支援

地域ケア会議
/連携会議
/多職種会議

啓発・
講座
イベント

健診
健康
作り

見守り・
SOS
体制作り

認知症
ケアパス
の改良

その他

質の向上

質の向上

全国調査・事例収集を通じて見えてきた
推進員による本人の社会参加支援の可能性:その3



推進員自身が、やりがい、楽しさの手ごたえが大きい。
本人から元気をもらい前向きに取り組んでいくモチベーションUP

- * 都会地でも、地方の小さなまちでも
- * 推進員の職種、経験年数によらず
- * 推進員の配置場所によらず

★すべての市区町村で、推進員が
本人の社会参加活動支援に力を入れていこう！

立場の異なる推進員さんの、活動報告をお聞きいただき、ヒントを得て下さい。

質問や情報提供を、どうぞ！ ZOOM画面下のQ&A機能を

検討委員一覧 (敬称略、五十音順)

委員	稲垣 康次	富士宮市保健福祉部福祉企画課
委員	岡田 眞理	広島市西部認知症疾患医療センター
委員	上村 佐和子	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課認知症対策室
委員	谷口 泰之	御坊市市民福祉部介護福祉課地域支援係
委員	中川 由紀代	大崎市社会福祉課地域包括ケア推進室
委員長	永田 久美子	認知症介護研究・研修東京センター
委員	橋本 佳子	山口県健康福祉部長寿社会課地域包括ケア推進班
委員	速水 陽一	釧路市福祉部介護高齢課高齢福祉担当
委員	横山 麻衣	藤枝市地域包括ケア推進課
委員	力石 雅博	燕市分水地区地域包括支援センター 燕市認知症総合支援事業

ワーキングチーム委員一覧 (敬称略、五十音順)

委員	足立 哲也	恵那市医療福祉部高齢福祉課 恵那市地域包括支援センター
委員	岡田 眞理	広島市西部認知症疾患医療センター
委員	金谷 佳寿子	鳥取市福祉部長寿社会課地域包括ケア推進係
委員	作田 直人	医療法人資生会 千歳病院 認知症疾患医療センター
委員	谷口 泰之	御坊市市民福祉部介護福祉課地域支援係
委員長	永田 久美子	認知症介護研究・研修東京センター
委員	速水 陽	釧路市福祉部介護高齢課高齢福祉担当
委員	横山 麻衣	藤枝市地域包括ケア推進課
委員	吉田 肇	千歳市北区地域包括支援センター
委員	力石 雅博	燕市分水地区地域包括支援センター 燕市認知症総合支援事業

事務局：認知症介護研究・研修東京センター
花田、飯塚、永田、翠川、小宮山

DCnet推進員ページをご覧ください

<https://www.dcnet.gr.jp/suishinin/>



【拠点】：認知症介護研究・研修センター（東京、大府、仙台）
我が国の認知症介護に関する研究・研修の中核的機関として
平成12年度に厚生労働省により設置されました

[▶サイト案内](#) [▶サイトマップ](#)

[ホーム](#)

Googleカスタム検索

[検索](#)

[専門職向けページ](#)

[認知症介護指導者
/実践者等養成](#)

[各種研修事業](#)

[研究情報](#)

[研究成果物
学習支援情報](#)

[研究報告書検索
地域実践事例検索](#)

[行政情報](#)

認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員(推進員)の育成やネットワーキング、活動の支援を行っています。

お問い合わせは下記にどうぞ

03-3334-3073

月～金曜日(土日祝・年末年始除く)

09:00～17:00

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
認知症地域支援推進員担当

メールでのお問い合わせは
[こちらをクリック](#)

認知症地域支援
推進員とは

認知症地域支援
推進員研修

研修資料

報告会資料
参考資料

すいしんいん
セッション
オンラインセミ
ナー

推進員通信

すいしんいん
ネット

イベント等
のお知らせ

お知らせ

認知症地域支援体制推進全国合同セミナーを開催します。
(zoom)

* 自治体の認知症施策担当者・関係者向け

推進員の活動促進についての自治体の取組報告もあります。

3月19日（金） 13：00～16：00

申し込み不要です。

ホームページDCネットをご覧ください。

* 当日報告資料を、ホームページDCネットに掲載します。

ぜひ、ご参考に！